

GHS ラベルについて

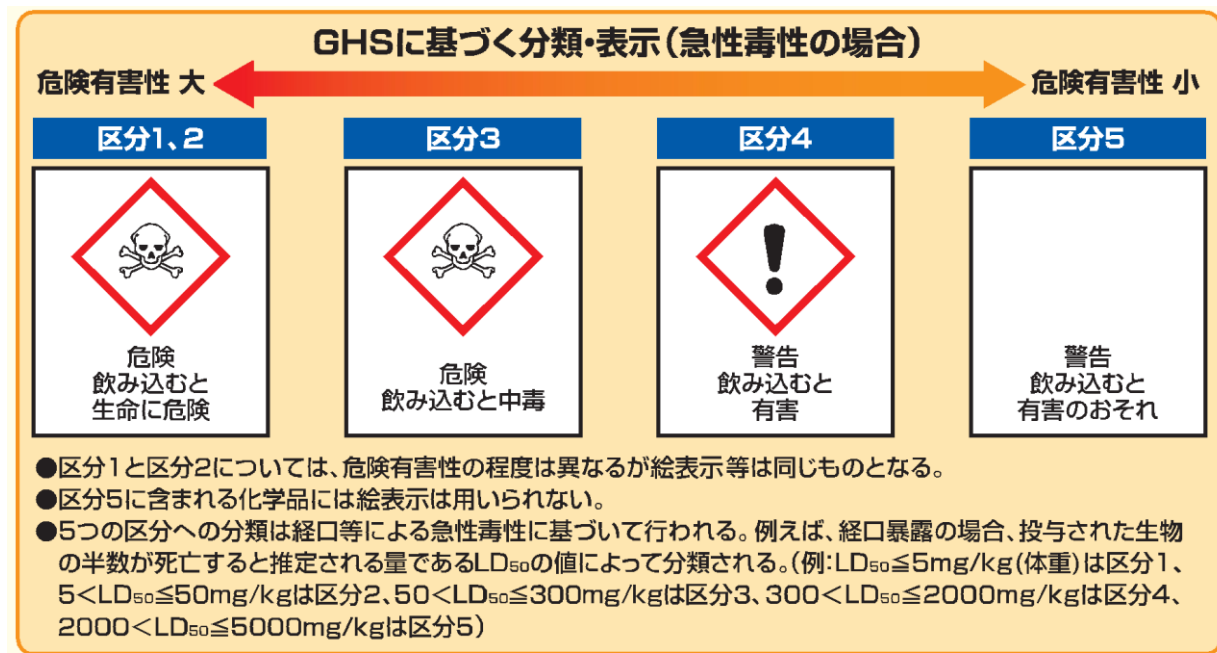
新プロセス開発室 木之下

GHS という言葉を聞いたことがあるでしょうか？

2003 年 7 月、国際連合から GHS (Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals) という化学品の分類及び表示に関する世界調和システムについての勧告がなされました。GHS とは、化学品の有害性毎の分類基準及びラベルや安全データシートの内容を調和させ世界的に統一したルールとして提供するというものです。

GHS で分類・表示される危険有害性としては、爆発性や引火性、急性毒性、発がん性、水性環境有害性などがあり、それぞれに危険有害性の程度に応じた絵表示と「危険」又は「警告」という注意喚起の表示などが決められています。

例えば、急性毒性の場合、一定以上の毒性を持つものは、その毒性の程度に応じて、区分 1～区分 5 に分類され、それぞれについて下記のような絵表示、注意喚起語及び危険有害性情報などがラベルに表示されることになります。






環境省 GHS に関するパンフレットより抜粋

GHS では、危険有害性の種類や程度に応じて、ドクロや感嘆符、炎、ガスボンベなどの絵表示が使われます。

さらに、安全対策、応急措置、保管、廃棄についての注意書きがつけられます。

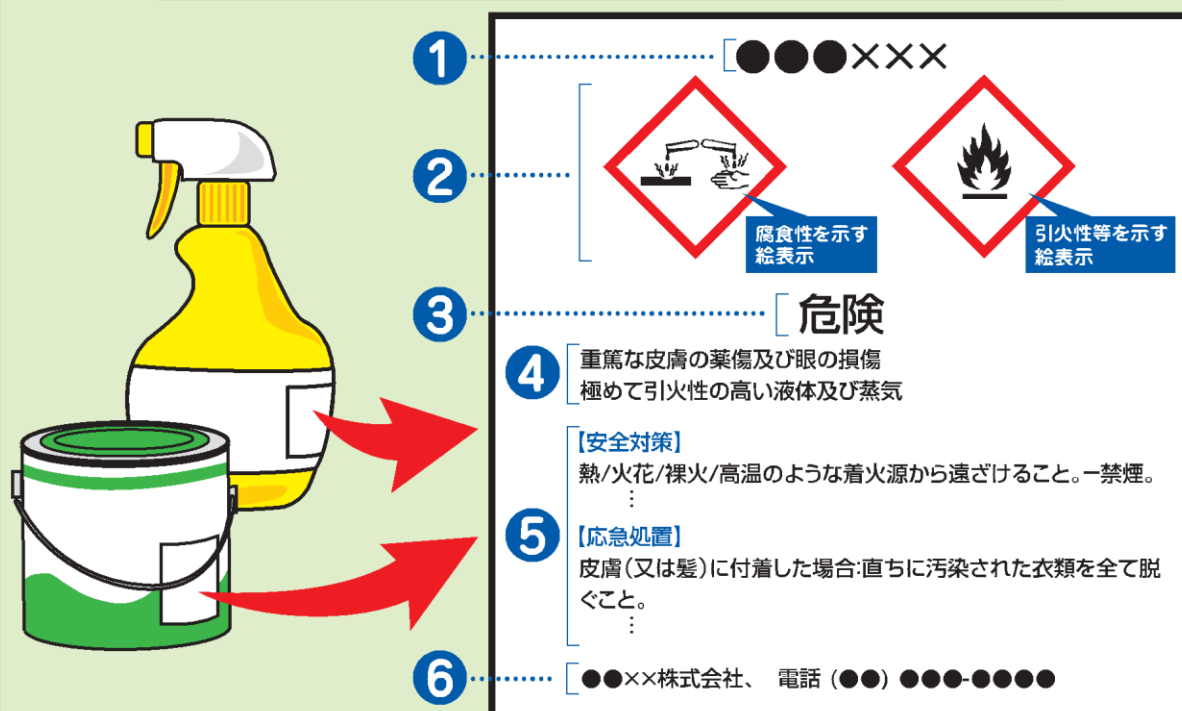
これは、特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律の SDS 制度に基づく記載内容と同じで、化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）と連動して、対象となる化学物質のほかそれらを含む製品について他の事業者へ譲渡・提供する場合に、化管法 SDS による有害性や取扱いに関する情報の提供を義務付けるとともに、GHS に基づいたラベルによる表示を行う事になっています。

GHS のシンボルと名称及び危険有害性を表す絵表示

GHSのシンボルと名称		
炎	円上の炎	炸裂の爆発
		
腐食性	ガスボンベ	どくろ
		
感嘆符	環境	健康有害性
		

危険有害性を表す絵表示					
（菱形枠は赤色、中のシンボルは黒色が用いられる。危険有害性の種類、区分によって使用される絵表示が多少異なるので詳細はGHS文書を参照のこと）					
絵表示					
概要	火薬類 自己反応性化学品 有機過酸化物	可燃性・引火性ガス 可燃性・引火性エアゾール 引火性液体、可燃性固体 自己反応性化学品 自然発火性液体、自然発火性固体、自己発熱性化学品、水反応可燃性化学品、有機過酸化物	炎燃性・酸化性ガス 酸化性液体 酸化性固体	高圧ガス	
以上は、物理化学的危険性。					
絵表示					
概要	急性毒性（区分4）、皮膚腐食性・刺激性（区分2）、眼に対する重篤な損傷・眼刺激性（区分2A）、皮膚感作性、特定の臓器・全身毒性（単回ばく露）（区分3）	急性毒性（区分1-3）	金属腐食性物質 皮膚腐食性・刺激性（区分1A-C）、眼に対する重篤な損傷・眼刺激性（区分1） ※太字は物理化学的危険性	呼吸器感作性、生殖細胞変異原性、発がん性、生殖毒性、特定の臓器・全身毒性（単回ばく露）（区分1-2）、特定の臓器・全身毒性（反復ばく露）、吸引性呼吸器有害性	水性環境有害性
以上は、健康および環境有害性。					

GHSに基づく、このようなラベル表示がされます



① 化学品の名称…化学物質名、製品名などを記載します。

② 危険有害性を示す絵表示……危険有害性の種類を示します。

③ 注意喚起語…危険有害性の程度に応じ、『危険』または『警告』といったことばが明記されます。なお、『危険』は『警告』に比べ、より危険有害性のレベルが高い場合に用いられます。

④ 危険有害性情報…製品の危険有害性の性質を説明しています。

⑤ 注意書き…誤った取り扱いによって生じる被害を防止する措置や応急措置、廃棄方法などを記載します。

⑥ 供給者を特定する情報…製造業者または供給業者の名称、住所、電話番号などを記載します。

環境省 GHS に関するパンフレットより抜粋

現在、私たちの仕事や生活は、いろいろな化学品により支えられています。

化学品は、仕事や生活を便利で快適なものにするものですが、正しく取り扱わなければ、私たちの健康や環境に悪い影響を及ぼすことがあります。

化学品の中で、私たちの生活に身近なものとしては、いろいろなクリーナーや殺虫剤、塗料などがあります。

その化学品のラベルには取り扱い上の注意や応急措置などが記載されたものが多くあります。

このラベル表示の身近な例として、家庭用漂白剤のキッチンハイターで紹介します。

表側に「酸性タイプの製品と一緒に使う（まぜる）と有害な塩素ガスが出て危険」と注意喚起語が記載されています。

裏面には上記のような GHS に基づいた表示が行われています。

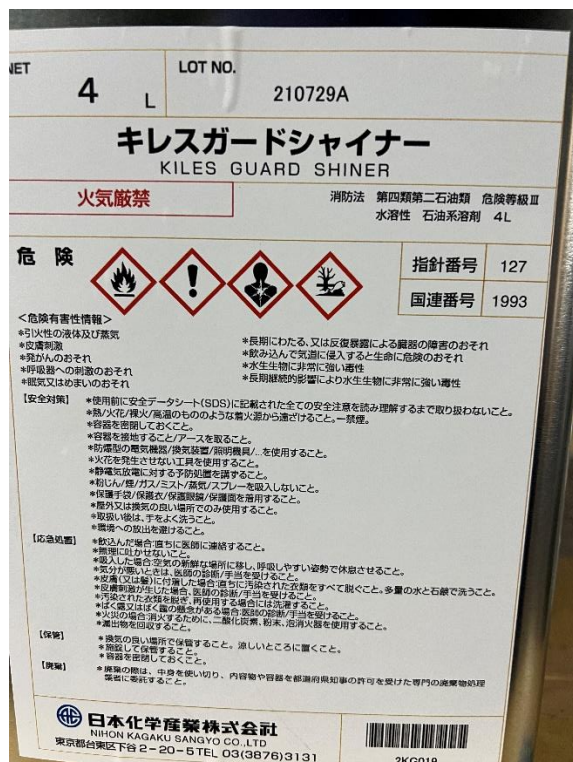


表側



裏側

社内で使用されている化学品についても GHS に基づいたラベルが表示されています。
シャイナー アンモニア水



α クリーンドスターエコ DME



表側



裏側



GHS と注意喚起語だけを表示したものもあります。

GHS と注意喚起語の表示しかないものに関しては、SDS（安全データシート）を確認してください。

塩化ニッケル



化学品は、私たちの生活を便利で快適なものにしてくれますが、取り扱いを誤ると健康被害を受け、環境に悪影響を与えることになります。

そうならないためにも、化学品に表示された GHS を意識して確認を行い、健康で快適な生活を続けていけるようにしていきましょう。